

大舞台での経験を糧に

加古川神野SCアミザージ・ジュニア

フットサル全国初出場

サッカーのクラブチームを運営するNPO法人「スポーツクラブアミザージ」(高砂市)の小学生チーム「加古川神野SCアミザージ・ジュニア」が、「バーモントカップ第22回全日本少年フットサル大会」の県予選で優勝し、4～6日に東

京都で開かれた本選に初めて出場した。予選リーグで敗退したが、選手らは「大舞台での経験を生かしたい」といつその飛躍を誓う。

「アミザージ」は、ポルトガル語で「友情」の意味。小学生チームは「クリエイティブ(創造的)

チームは6年生で構成。今大会の東播地区予選は2位通過だったが、

県予選は決勝で三樹平田アディクト(三木市)を5-2で下した。本選には全国の48チームが出場。予選リーグの初戦は長野県代表を5-



2で下したが、2、3戦目は敗れた。日本サッカー協会の「ナショナルトレセン」に指定されているFW三枝竜也選手(12)＝高砂市立中筋小

6年IIは「緊張して持ち味が出せなかった。大舞台で活躍するには経験が必要」と話す。同チームは12月8～9

全日本少年フットサル大会に出場したアミザージ・ジュニアの6年生チーム＝加古川市加古川町大野

日に開かれた関西少年サッカー大会では3位になるなど活躍を続けている。庄所誠コーチ(32)は「Jリーグや世界といった高い目標を目指し、個人が力を伸ばしてほしい」と期待する。

(井上 駿)